

# 園長だより NO54

## 感染症対策の意識継続を

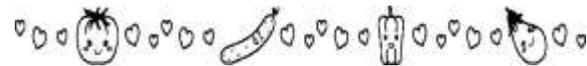
連日の報道、都内の新型コロナウイルス感染者は 200 人台を維持し、県内も徐々に増えています。感染のリスク増と明日は我が身かと考えると不安の念を抱かずにはいられません。

市内でも園児の感染者が判明、保健所は幾つもの判断基準から児童が通う園の職員、園児は濃厚接触者に該当しないとの判断をして休園措置は取らず通常通りに保育は継続されています。

身近な地域に感染者が出たことに不安は増しましたが市内各園、感染対策の意識を再度、しっかりと持ち対応する機会となりました。

連日、メディアで取り上げられる新型コロナウイルス感染症ですが感染者数の数だけに気をとられ、世間一般が知りえる情報も頭に入っていないこともあります。

厚労省からの保育所における対応についての Q&A では保育所において感染してしまった子どもが出た場合市区町村はまず何をやるかの問いの回答に「感染した子ども等に対して偏見が生じないように、人権に配慮した対応が必要です。また、休園に際し子どもや保護者に過度の不安を生じさせないために新型コロナウイルスについて正しい認識や感染症対策を含めた理解を深められるよう情報提供を行って下さい。」と回答している。



実に当たり前の回答であり人権に配慮した対応は社会生活を営む以上当然のこと。

世の中では感染者や医療従事者に心もとないことばが発せられ、差別をうけていることが報道で取り上げられた、実に悲しい、あつてはならないことです。

偏見や差別については福祉に携わるものであればいつ何時もその配慮は忘れていない。

保育の現場では養護と教育の一体性がいわれている。

養護とはこどもの生命を保持しその情緒の安定を図るため保育士等によるきめ細やかな配慮の下での援助や関りです。

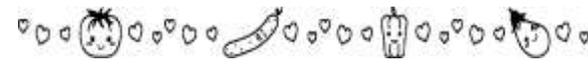
保育士それぞれが一人一人の子どもを愛し、守り、支えようとするのが重要です。

保育の現場では上記のことを繰り返し、教えられ、学び、実践に反映させている。

仮に子ども達が危機的な状況になれば命の保持にしっかりと向かい合い対応するでしょう。

保育だけでなく社会全体で偏見や差別のない世の中を作らなくてはならない。そんなことは重々承知していますと言われるかもしれませんが、これが難しいからこそ、非常事態下で起きてはならないことが起きてしまうのです。

新型コロナウイルス感染症対策などについてのマニュアル、具体的対応は多く出され、行政の指導もある。でも、心のケアまでは行きつかない。

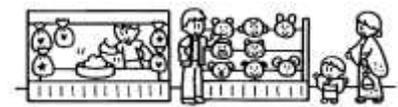


こんな事態だからフラストレーションがたまると。イライラがつる、自分の感情が制御できなくなり、余計なことを言うてしまうこともある。

保育園は心の通うところである。保育園にかかわる大人すべての心のケアができますとは言えないが子ども達がいきいきと生活し穏やかな表情で帰路につくことが少なからず、関わる大人の心が安定した状態に置かれることにつながると思っています。

コロナ渦中、子ども達の生活を維持していくことに主眼が置かれ、保育者も保育園での新しい生活様式を模索している。

来月早々の子ども達との夏祭りも子ども達にとって楽しいものに、子ども達のいきいきとした姿がその取り組みでみられるよう、子ども達の思いを尊重しながら保育者は活動を共にしています。



まだまだ長いトンネル、感染症対策は気を緩めればいつしか自分が感染してしまう。うつることも うさないことも意識した行動をとることが望まれます。

仮に万が一にも感染者が身近に出ってしまった場合は「負の感情は抱かずに」「共に一緒に乗り切ろう、すべては子ども達のためと正の感情を抱くよう心がけを持ちましょう。」

## 「油断大敵 大失敗」

過去にトウモロコシを育てた年が数年続きました。子ども達と保育者で植えたものだが毎年、リベンジと言いつつ育てるのだが収穫まではいかない。手間暇かけないので途中で害虫に食べられたり、強風でなぎ倒されたりしていた。

今年は私の趣味的にトウモロコシを育ててみました。程よく収穫までいこうと思っていたら、「やはり やられてしまったカ・カ・カラスに」、ほぼ毎日、畑に足を運んでいた、そろそろ収穫だ「子ども達にとらせよう」と幸せの妄想にふけること一日、翌日、畑に向かうと なんとほとんどカラスに食べられて全滅状態(泣) リベンジならず、宿敵カラスに食べごろを先に感ずかれてしまいました。害虫対策もよし、肥料もよし、強風対策もよし、大きな失敗は鳥対策をしていなかったこと。「大丈夫だろう」この油断がこの事態。



人間は失敗を糧に成長するもの  
来年こそは  
丁寧な育てよう  
子ども達の  
満面の笑みを  
みるために

(園長 廣部 信隆)